

先進事例を見る

本会では資料収集加工事業を実施し、全国中小企業団体中央会と連携して、テーマを決め共同事業等先進的に取り組んでいる組合事例について調査を行い情報提供を行っています。

今回は、平成30年度に本会が行った調査のうち、「特徴ある活動」についての組合事例をご紹介します。

企業組合スイーツキッチン

— 安全安心でおいしい農産加工品の開発・製造・販路開拓 —

住 所	(〒994-0075) 山形県天童市蔵増1005-2	U R L	http://sweets-kitchen.jp/
電話番号	023-664-0037	出 資 金	600千円
設 立	平成26年7月	組 合 員	16人
主 な 業 種	農産物および加工品販売		

■背景・目的

地域農産物を使った、安心安全な手づくりのおやつを子供達に提供したいという理念から事業を開始。特別栽培米等の農産物を生産していたことから農産物加工品に着目し、家業の農業の米販売や経理と家事と両立させながら商品開発を進めた。その後、本格的な事業化を目指して、組織体制の確立と信用度の強化を図るため企業組合を設立した。

■取組みの手法と内容

理事長が中心となって事業全体を統括しており、学校などで焼き菓子作りの講師も務めている。理事長は農家に嫁いできたものの、商品開発については全く経験がなく、ゼロからのスタートであった。家事や子育ての合間を縫って試作開発を重ね、焼き菓子やシフォンケーキ、ジャム、ゼリー、焼き芋やかき氷などの加工品の開発・製造につなげることができた。これらの商品は、地域の産直施設、温泉施設、スイミングスクール、大型商業施設内のテナントで販売され、理事長の姉が福岡県にて経営するカフェにもかき氷シロップ等を供給している。

生産設備への投資や専従従業員の雇用については、過大投資とならないように慎重に検討を加えながら進めている。その後、天童市特産の果実や農産物等がふるさと納税返礼品として採用されたこともあって、平成26年の組合設立後、短期間にもかかわらず売上が大きく拡大している。一方で、売上が減少する冬期間の安定的な経営が課題となっているが、通年型の商品の開発や、全国各地、特に西南日本への販路の拡大が効果的と考えており、具体的な実施に向けて取り組んでいるところである。事業規模の拡大に応じた生産設備の増強や生産性向上策、また人材の雇用と育成も今後の大きな課題となっている。

■成果とその要因

販路は県内外に展開し、ふるさと納税返礼品として採用されたこともあって売上は大きく拡大している。

成果要因としては、安全安心志向に合う農産物を活用しておいしい商品を開発したこと、着実な販路の開拓、また家業の農業との相乗効果を発揮していること、無理な設備投資や人員増強を行わずに適正規模を意識した経営を行っていることがあげられる。



▲店舗「kokoimo」の様子



◀地元広報誌の記事



事業・活動 実現のキーファクター

子供を持つ主婦層などの顧客ニーズに合致した安全安心でおいしい加工品を開発し販路を開拓したこと、地域農業生産者と連携した農産物の調達と販売を行っていること。